YAMADA

保 証 書

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

持込修理

コーヒーメーカー	品　番　YCM-D65C1
★お客様お名前　　様	
★ご住所　〒　　★電話番号（　　）　　－	

保証期間 ★お買上げ日　　年　　月　　日から **本体……1年間**	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

1．保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
　イ．使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
　ロ．お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
　ハ．火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
　ニ．業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
　ホ．本書の提示がない場合。
　ヘ．本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
　ト．消耗部品の交換、仕様変更　} など
2．保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
3．ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4．ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「ハーブリラックスお客様相談室」にお問い合わせください。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only in Japan.
6．本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「ハーブリラックスお客様相談室」にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、10 ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

見本

株式会社ヤマダ電機

【ハーブリラックスお客様相談室】TEL 0120-258-260（無料）

〒370-0841　群馬県高崎市栄町1番1号

受付け時間：午前10時～午後9時（休日：元旦のみ）

Y11

取扱説明書

YAMADA

コーヒーメーカー
品番 YCM-D65C1

一般家庭用
（業務用としては使用しないでください）

保証書付（裏表紙）

お買上げまことにありがとうございます。

● この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
特に1～2ページの「**安全上のご注意**」を必ずお読みください。

● この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

HERB Relax

取扱説明書（保証書付）・本体には商品の色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

もくじ

ページ

安全上のご注意 …… 1～2
各部のなまえ …… 3
お使いの前に …… 4
コーヒーの作りかた …… 5～7
保温を続けるとき …… 7
アイスコーヒーの作りかた …… 8
消耗部品・交換部品について …… 8
仕 様 …… 8
お手入れ …… 9
故障かな？と思ったら …… 9
修理サービスについて …… 10
愛情点検 …… 10
保証書 …… 裏表紙

特　長

●少量でもおいしい　**切替スイッチ付**
●給水らくらく　**カセット式水タンク**
●**コーヒー6杯分**

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● **誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。**

⚠ **警告**	死亡や重傷に結びつくおそれがある内容です。
⚠ **注意**	軽傷または家屋･家財などの損害に結びつくおそれがある内容です。

してはいけない 「禁止」内容です。	実行しなければならない 「指示」内容です。

⚠ 警 告

改造はしない。また修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
分解禁止
火災・感電・けがの原因となります。
修理はお買い上げの販売店または、当社の「ハーブリラックスお客様相談室」にご相談ください。

水につけたり、水をかけたりしない
水ぬれ禁止
ショート・感電の原因となります。

ぬれた手でさし込みプラグを抜き差ししない
ぬれ手禁止
感電・けがのおそれがあります。

蒸気口にさわったり、手や顔を近づけない
接触禁止
やけどのおそれがあります。特に乳幼児にはさわらせないようにご注意ください。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない
禁止
やけど・感電・けがのおそれがあります。

交流100V以外では使用しない
禁止
火災・感電の原因となります。

ガラス容器なしで使わない
禁止
やけどのおそれがあります。

電源コードやさし込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
禁止
感電・ショート・発火の原因となります。

電源コードを傷つけない
禁止
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災･感電の原因となります。

さし込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
必ず実施
感電・ショート・発煙・発火の原因となります。

定格15A以上のコンセントを単独で使う
必ず実施
他の器具と使用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因となります。

さし込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よくふく
必ず実施
火災の原因となります。

異常・故障時には、直ちに使用を中止する
必ず実施
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがの原因となります。

＜異常・故障例＞
- ◆電源コードやさし込みプラグが異常に熱くなる。
- ◆電源コードに深い傷や変形がある。
- ◆焦げくさいにおいがする。
- ◆製品の一部に割れ・がたつき・ゆるみがある。
- ◆電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする
- ◆スイッチを入れても動かない。

このような場合は、すぐにさし込みプラグを抜いて、お買上げの販売店へ点検、修理を依頼する

⚠ 注 意

使用中や使用後しばらくは高温部に手を触れない
接触禁止
やけど・けがのおそれがあります。

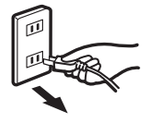
不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない
禁止
火災の原因となります。

抽出中にガラス容器をはずさない
禁止
やけどのおそれがあります。

壁や家具の近くでは使わない
禁止
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因となります。

ガラス容器を載せたまま本体を動かさない
禁止
やけど・けがのおそれがあります。

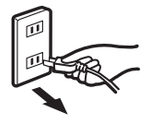
使用時以外はさし込みプラグをコンセントから抜く
プラグを抜く
けが･やけど･絶縁劣化による感電･漏電火災の原因となります。



電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買上げの販売店または、当社の「ハーブリラックスお客様相談室」にご連絡いただき、電源コード交換を行う
必ず実施

お手入れは冷めてから行う
必ず実施
高温部に触れ、やけどのおそれがあります。

さし込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端のさし込みプラグを持って引き抜く
必ず実施
感電・ショート・発火の原因となります。



お願い

水タンクに水以外のものを入れない
牛乳や酒・コーヒー・湯など水以外のものを水タンクに入れると故障の原因となります。

ガラス容器は、落としたり、固いものにぶつけたりしない
ガラスが割れてけがのおそれがあります。

ガラス容器を直火にかけたり電子レンジで使用しない
割れたり、とっ手が変形したり金属部から火花が飛び散る原因となります。

続けてコーヒーを作る場合はスイッチを「切」にして、5分以上待つ
本体が熱いうちに給水したり動かしたりすると活性炭フィルターから突然蒸気や熱湯が出るおそれがあり、やけどのおそれがあります。

水タンクに水をいれたまま放置しない
故障や変色・臭い・腐敗の原因となります。

水タンクに熱湯を入れない
故障・変形の原因となります。

水にぬれた場所で使用しない
感電の原因となります。

空だきはしない
保温時以外に水タンクに水を入れずに通電すると故障の原因となります。

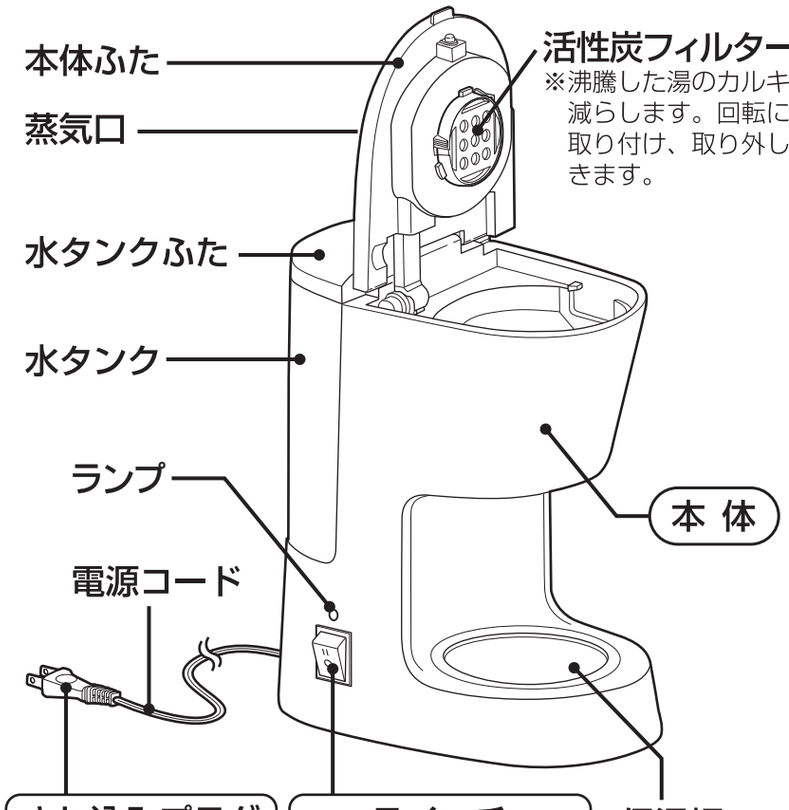
他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因となります。

ガラス容器が熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、ぬれた場所に置かない
傷が付くと破損しやすくなります。
もし、割れた場合は、取り除くときに手を切らないように十分ご注意ください。

使い終わったら、必ずスイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜く
長時間通電を繰り返しされると故障の原因となり、異常過熱や発煙する場合があります。

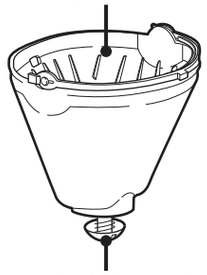
指定の大きさのペーパーフィルター以外を使わない
抽出がうまくいかない原因となります。

各部のなまえ



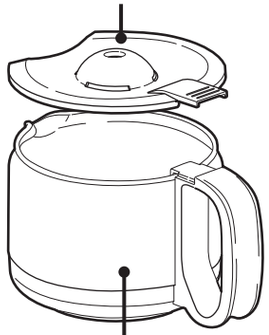
活性炭フィルター
※沸騰した湯のカルキ臭を減らします。回転により取り付け、取り外しができます。

フィルターケース



しずく防止弁

ガラス容器ふた
※必ずご使用ください。



ガラス容器

保温板
スイッチが「入」のとき高温になります。

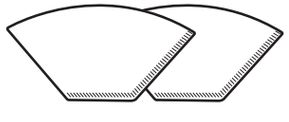
さし込みプラグ
交流100V・15A以上のコンセントをご使用ください。
使用後は、必ずさし込みプラグをコンセントから抜いてください。

スイッチ
1~6 ／切／ 1~2 の3段切替です。
1~6 ／ 1~2 のとき、ランプが点灯します。
※スイッチは自動で「切」になりません。使用後は手動で「切」にしてください。

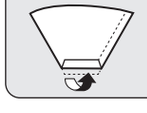
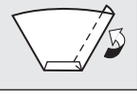
付属品

計量スプーン…1個
すり切り1杯　約8g

ペーパーフィルター…2枚
※市販品をお求めください。
（サイズ1×2または102）



折りかた

①下を折る	②横を折る	③広げる
		

お使いの前に

初めてご使用になるときや、長時間保管されていた場合は、次のように洗浄してください。

部品の洗浄

①本体から外せる部品はすべて取り外し、水洗いまたは食器用中性洗剤で洗ってください。

- **本体から外せる容器**
  水タンク、水タンクふた、フィルターケース、ガラス容器、ガラス容器ふた、活性炭フィルター*

*活性炭フィルターは必ず水で軽くすすぎ洗いをしてください。

本体の洗浄

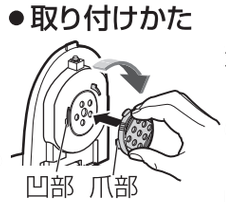
下記②から④までの工程を2～3回繰り返し、本体の内部を洗浄してください。
②部品の洗浄後、水タンク以外の部品を本体に組み込みます。
③水タンクの目盛「 ホット 6 」まで水を入れ、水タンクふたをし、本体にセットします。
④差し込みプラグをコンセントにさし込み、スイッチを「入 1~6 」の位置に入れます。
水タンクの水がなくなったら、スイッチを「切」にしてください。
(2～3回繰り返してください。連続で洗浄の場合、5分以上の冷却時間を取ってください。)

活性炭フィルターの取り外しかた･取り付けかた

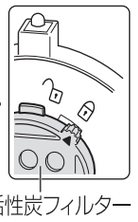
●取り外しかた

活性炭フィルターの「▲」印を「🔓」印から「🔓」印側に回転させて取り外します。
※活性炭フィルターが十分冷めてから取り外してください。

●取り付けかた



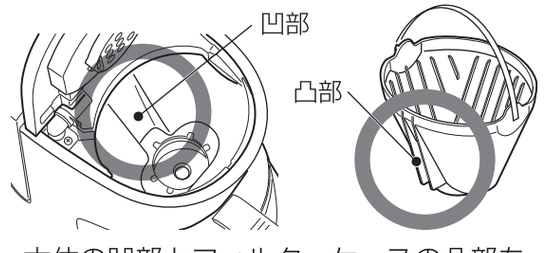
活性炭フィルターの「▲」印を「🔓」印に合わせてさし込みます。
(3か所の爪部を合わせます。)
「🔒」印側に回転させて取り付けます。



フィルターケースの取り付けかた･取り外しかた

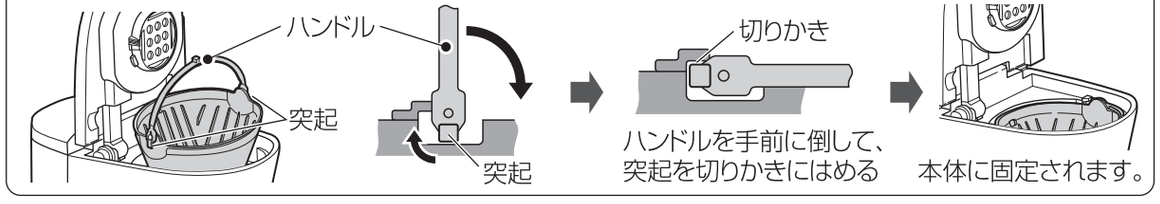
正しい位置にセットされていないと、本体ふたが閉まらなかったり、コーヒー液がガラス容器にでなくなります。

必ずハンドルを持って取り付け、取り外しを行ってください。



本体の凹部とフィルターケースの凸部を合わせてください。

ハンドルを持ち上げ、ハンドル両側の突起を本体の切りかきにはめて取り付けてください。



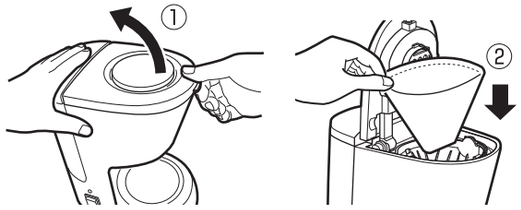
コーヒーの作りかた

7ページへつづく ➡

1 本体ふたを開けフィルターケースにペーパーフィルターを入れる

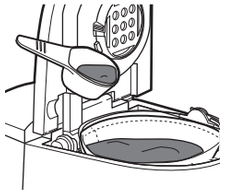
①本体ふたを開ける
- 本体が動かないようにささえてください。

②フィルターケースの中にペーパーフィルターを入れる
- ペーパーフィルターを開き、向きに注意してフィルターケースにセットします。



2 ペーパーフィルターにコーヒー粉を入れる

杯数分のコーヒー粉を入れます。
コーヒーカップ1杯につき付属の計量スプーンですりきり1杯が目安です。



- コーヒー粉はペーパーフィルター用中びき粉を用意してください。細びき粉を使用しますとペーパーフィルターが目づまりし、フィルターケースからコーヒーがあふれることがあります。
- 計量スプーン6杯を超えるコーヒー粉を入れないでください。コーヒーがフィルターケースからあふれることがあります。

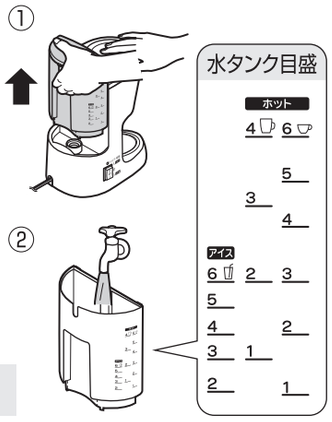
	カップ数	コーヒー粉量（計量スプーン）
コーヒーカップ	6カップ	6杯（約48g）
	5カップ	5杯（約40g）
	4カップ	4杯（約32g）
	3カップ	3杯（約24g）
	2カップ	2杯（約16g）
	1カップ	1杯（約8g）
マグカップ	4カップ	6杯（約48g）
	3カップ	4.5杯(約36g)
	2カップ	3杯（約24g）
	1カップ	1.5杯(約12g)

※お好みによりコーヒー粉量を加減してください。

3 水タンクに水を入れる

①水タンクを本体からはずす
- 本体を押さえて水タンクをはずしてください。本体が持ち上がり、落下することがあります。

②作るコーヒーの量に合わせて、水タンクの目盛の線まで水を入れ、水タンクふたをする
- 水タンク目盛の「ホット」コーヒーカップ用「6」を超える水を入れないでください。ガラス容器からコーヒーがあふれるおそれがあります。
- 水タンクに湯は入れないでください。水タンクの変形や湯が飛び散る原因となります。



注 意 給水する時は本体から水タンクをはずしてください。

お願い

途中でやめるときは...

①スイッチを「切」にして、さし込みプラグをコンセントから抜く。
②活性炭フィルターから液が出なくなったことを確認し、ガラス容器とフィルターケースを取り出す。
③保温板が冷めてから水タンクに残っている水を捨てる。

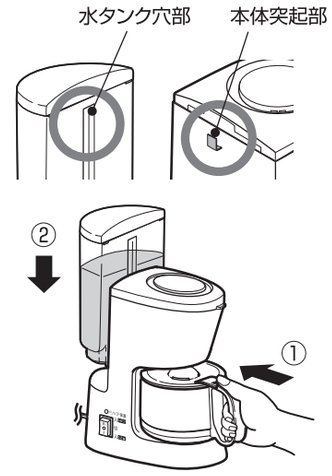
熱いコーヒーをお好みの方は...

- あらかじめコーヒーカップを熱湯などであたためておいてから注いでください。
- できあがったらガラス容器をそのまま保温板においてあたためてください。（ただし、保温するときは15分くらいまでとしてください。）

4 ガラス容器・水タンクを本体にセットする

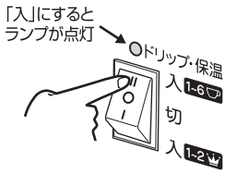
①ガラス容器を保温板にセットする
- ガラス容器は保温板にこすれない様にセットしてください。
- ガラス容器には必ずガラス容器ふたをしてください。しずく防止弁が開かずフィルターケースからコーヒーがあふれます。
- ガラス容器はしずく防止弁に無理な力を加えないように静かにセットしてください。
- 保温板が汚れたり、水分がついたりした状態で使用すると、保温板の塗装がはがれたり、変色の原因となります。

②水タンク穴部を本体突起部にセットする
- 本体突起部が水タンク穴部にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
- セットされていないとドリップ中に湯が出ないことがあります。



5 スイッチを入れる

さし込みプラグをコンセントにさし込み、スイッチを「入1~6」側に入れてください。
ランプが点灯し、ドリップを開始します。

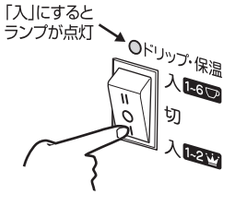


できあがり時間の目安（水温 23℃・室温 23℃）

カップ数	1カップ	2カップ	3カップ	4カップ	5カップ	6カップ
コーヒーカップ「」	約2分	約3分	約4.5分	約5.5分	約6.5分	約7.5分
マグカップ「」	約3分	約4.5分	約6.5分	約8分	–	–

コーヒー（）1~2カップ **マグカップ（）1カップ**
の少量をドリップすることができます。

- スイッチを「入1~2」側に入れてください。
  ドリップの時間を長くすることにより、
  少量でも味わいのあるコーヒーが作れます。



できあがり時間の目安（水温 23℃・室温 23℃）

カップ数	1カップ	2カップ
コーヒーカップ「」	約5.5分	約8分
マグカップ「」	約7分	–

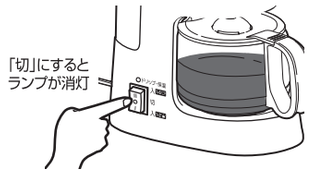
注 意 ドリップ中は蒸気口および本体ふたと本体の隙間から高温の水蒸気が発生します。手や顔を近づけないでください。やけどのおそれがあります。

- 抽出中に水を追加しないでください。
- できあがり時間は水温、室温、電圧などで変わることがあります。
- 1カップ分の標準でき上がり量は、ホットで約115ml、マグカップで約170mlです。コーヒーの種類や量、粗さにより、でき上がり量が変わります。

コーヒーの作りかた　つづき

6 スイッチを切り、コーヒーを注ぐ

ボコボコという大きな音は抽出終了の目安です。音がしなくなったらスイッチを切り、コーヒーが落ちきったことを確認してからガラス容器をゆっくり抜き、カップに注ぎます。



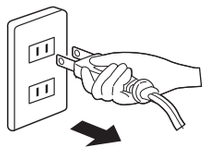
- ランプが消えたことを確認してください。
- ガラス容器ふたを指で押さえてください。

注 意

- **カップに注ぐ量が多いと、ガラス容器を伝って流れ、テーブルや床面を汚すおそれがあります。少しずつ注いでください。**
- **ガラス容器を取り出すとき、本体ふたや本体内部に結露した水滴が保温板上に落下します。**
- **やけどにご注意ください。**

7 使用後は

- 必ずスイッチを「**切**」にした後、さし込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。



お願い

連続してコーヒーを作るときは...

- スイッチを「**切**」にして、本体を5分以上さましてから「**コーヒーの作りかた**」の**手順1**より行ってください。
- 5分以上さましても**本体ふた・保温板**（高温部）は高温のおそれがあります。次の準備をするときは高温部にふれないでください。やけどの原因となります。
- 本体が熱いうちに給水したり、動かしたりしないでください。活性炭フィルターから突然蒸気や熱湯がでるおそれがあり、やけどの原因となります。

保温を続けるとき

保温する場合は ...

- 残ったコーヒーを保温したい場合はスイッチを「**入**」にしたまま保温板に載せてください。
- ガラス容器にガラス容器ふたをしたまま保温してください。
- 使い終わったらスイッチを「**切**」にしてからさし込みプラグを抜いてください。
- 残ったコーヒーを保温板上に長時間放置すると、コーヒーが蒸発して煮詰まっていきます。空焚きしないよう注意してください。

お願い

保温を続けるときは...

- 長時間保温しますと、香りがぬけ、風味が悪くなりますので、保温時間は 15 分程度を目安にしてください。

アイスコーヒーの作りかた

1 「コーヒーの作りかた」の*1*～*7*と同じ手順でコーヒーを作る

- コーヒー粉は、アイスコーヒー用をお使いください。
- 計量スプーンにて、杯数分のコーヒー粉を入れます。
- 水量は水タンクの「**アイス**」の目盛に合わせます。

準備するもの

- アイスコーヒー用粉
- 氷
- シロップ
- 生クリーム
  など

2 グラスに約8分目の氷を入れて、できたてのコーヒーを注ぎ、かき混ぜて冷やす

注 意　アイスコーヒーは 2～6 カップで作ってください。

消耗部品・交換部品について

お買上げの販売店でお買い求めください。

品　番	部品のなまえ	交換時期の目安
YCM-D65C1	活性炭フィルター	《消耗部品》 1 日 1 回のご使用で約 2 年が目安です。 浄水効果が少なくなりましたら交換してください。
YCM-D65C1	ガラス容器 ※必ず専用のガラス容器をお求めください。 ※取っ手が付いています。	《交換部品》 破損した場合お求めください。

仕 様

品　番	YCM-D65C1	抽出方式	ペーパードリップ式
電　源	交流100V	消費電力	650W
質　量	約 1.5kg	最大使用水量	800mL
本体寸法	幅　奥行　高さ 約 236 × 約 160 × 約 280(mm)	コードの長さ	1.2m
付属品	計量スプーン 1個、ペーパーフィルター 2枚		

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

お手入れ

お手入れするときは

- 必ずさし込みプラグを抜き、本体・保温板などが冷めてから早めに行ってください。
- 食器用中性洗剤とスポンジ･布などをお使いください。ベンジン･シンナー･みがき粉･たわしなどは表面を傷つけますので使わないでください。
- 食器用乾燥器・食器洗い乾燥器に入れて乾燥させないでください。部品の変形の原因となります。
- 熱湯を使ったり、熱湯に入れたりしないでください。変形や割れる原因となります。

水洗いできます

- 活性炭フィルターは必ず水で軽くすすぎ洗いをしてください。
- フィルターケースや計量スプーン、ガラス容器ふたは水ですすぎ洗いしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水またはぬるま湯で薄め、柔らかいスポンジを使用して軽く洗ってください。その後、洗剤が残らないようにすすぎ洗いをしてください。

中性洗剤、スポンジ

ベンジン、たわし

【ガラス容器】

- ガラス容器は中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて洗ってください。
- ガラスに傷がつくと割れる原因となりますので、研磨剤入りのクレンザー、たわし類等は使用しないでください。
- ガラス容器の内部に手を入れて洗わないでください。ガラスが割れてけがをすることがあります。
- ガラス容器は食器洗い乾燥機で洗わないでください。

水洗いできません

本体の汚れは、湿った布で拭いてから、乾いた布で拭き取ってください。

本体は絶対に水をかけたり、水につけたりしないでください。感電や故障の原因となります。

故障かな?と思ったら

症　状	原　因	処　置
スイッチを「入」にしても通電しない	さし込みプラグがコンセントから抜けていませんか?	さし込みプラグをコンセントにさし込んでください。
湯が出ない	水タンクに水が入っていますか?	水タンクに水を入れてください。
	水タンクは正しくセットされていますか?	水タンクを正しくセットしてください。
コーヒーが出ない	フィルターケースが正しくセットされていますか?	フィルターケースを正しくセットしてください。
	ガラス容器にガラス容器ふたがセットされていますか?	ガラス容器ふたを正しくセットしてください。
湯の出る量が少ない	スイッチの入れる方向が間違っていませんか？	正しい位置に合わせてください。
抽出時間が長い		

修理サービスについて

(1) 保証書

- この製品には、保証書がついています。
  保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。
  保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

(2) 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
  内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください。）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
  保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときは
  お買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「ハーブリラックスお客様相談室」にご相談ください。
  修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間

このコーヒーメーカーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後 5 年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合

修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「ハーブリラックスお客様相談室」にお問い合わせください。

- ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、株式会社ヤマダ電機「ハーブリラックスお客様相談室」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダ電機

お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

- お客様相談室でお受けした個人情報は、修理やご相談への回答などに利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該商品に関する株式会社ヤマダ電機および関係会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。その場合も当社と同等の個人情報保護を行わせますので、ご了承ください。
- 保証書にご記入いただいたお客様の住所･氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動に利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

愛情点検　長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！

こんな症状はありませんか	●電源コードやさし込みプラグがふくれるなどの変形や変色、損傷している。 ●電源コードの一部やさし込みプラグがいつもより熱い。 ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●本体部がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いニオイがする。 ●本体から水漏れする。 ●その他の異常や故障がある。	こんなときは → **使用を中止してください。** 故障や事故防止のため、さし込みプラグを抜いて、必ずお買上げの店に点検をご相談ください。
こんなことはありませんか	さし込みプラグにほこりやごみがたまっている。	→ **ほこりやごみを取り除いてください。**